

整理No.2018-48		労働災害状況調査表			
発生会社 事業所					
災害発生日時		2018年 3月12日(月) 15時 30分頃 天候(晴れ) 温度(13℃)湿度(43%)			
災害区分		不休災害 (休業災害 (休業: 2日))			
被災者	部門	製造課		雇用形態 正社員、(派遣)契約、その他()	
	年齢	22歳	性別:(男)女	勤続年数 1年	経験年数 1年
	傷病名	左足背部打撲・捻挫・挫創・皮下血腫			
	傷病部位	左足甲部			
災害発生状況	状況概略(写真orイラスト)		<p>The diagram illustrates the accident scene. Worker A is pushing a drum towards a narrow passage. A forklift operator is approaching from the right. The ground is sloped downwards. Both workers are wearing safety glasses. Labels include: 作業員A (Worker A), 運転者:花粉メガネ (Operator: Flower Powder Glasses), 進行方向 (Direction of travel), 傾下斜り (Downward slope), and 通路 (Passage).</p>		
	<p>作業員Aが、通路へ洗浄用ドラムを押し出たときに、右方からバックで来たリフトと接触した。その時、作業員の左足先がリフト後輪に僅かに掛かった。体を左に捻って前のめりとなった時、左足内側から甲にかけてリフト右後輪と通路面に挟まれた形となって負傷した。</p> <p>当日は、特段の痛みもなく、作業員Aは帰宅したが、翌朝、腫れが酷くなり、休業、通院。</p>				
	災害の型 ^{※1} : 3 (激突)・5 (はさまれ、巻き込まれ)		作業の形態: 定常・非定常・その他()		
	起因物 : フォークリフト		特記事項:		
原因分類	1.人的要因(man) 運転者は作業員の行動に気付かなかった。作業員は周囲を良く確認しないまま、通路へ出た				
	2.物に関する要因(machine) 作業員は押しているドラムに気を取られていた。双方、視野が狭いメガネを使用していた。				
	3.環境要因(media) 作業員の進行方向に傾斜があった。				
	4.管理的要因(management) 通路に出る時の周囲確認、一旦停止等、具体的行動指針に欠けていた。				
対策	(暫定処置: 特別終礼の実施)				
	<ul style="list-style-type: none"> ・リフト運転者に対して、建屋内では、周囲の作業員(歩行者)を把握し、周囲へ注意を払う点、運転しない者には、リフト接近時、必ず運転者の目を見てアイコンタクトする様、注意喚起・伝達。(リスク教育) ・視野が狭まるメガネの着用については、潜在的な事故リスクがある点を認識して貰った。(教育訓練) ・フォークリフト取り扱い者を対象として、フォークリフト取り扱い上の安全講習を企画・実施した。(現場表示) ・通路に出る前に一旦停止を促す為、トラテープを貼った。 				
対策分類 ^{※2} : 2-3、2-4、1-6					

※1) ①から選択

※2) ②から選択(複数可)